



仁保の風

仁保中だより

令和5年度第7号
2023年12月22日
山口市立仁保中学校
929-0028

校訓 (昭和63年制定)

自主 友愛 創造

学校教育目標：ふるさとに誇りをもち、心豊かにたくましく未来を生き抜く生徒の育成

本日、2学期終業式を終え、2023年も終わりを告げようとしています。保護者のみな様、地域のみな様のおかげで、子どもたちは健やかに成長を遂げています。この一年のご支援に厚くお礼申し上げます。ありがとうございます。年が明けましても、引き続き温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。以下、終業式での校長式辞の一部を掲載します。



困難を乗り越えて



さて、今年のプロ野球は阪神タイガースが優勝しましたが、今日は、その阪神タイガースにドラフト4位で指名されて入団が決まった高校生、百崎選手の話をしたと思います。彼は、熊本県の中学校から、遠く離れた神奈川県の大相模高校という野球の超名門校に進学しました。能力の高い百崎選手は1年の秋からレギュラーの座をつかみ活躍していましたが、一人突出した状態で同級生との関係がうまくいかなくなり、地元熊本の系列校、東海大熊本星翔高校に転校しました。彼はもう野球はやめようと思っていましたが、中学時代からの友達や監督からの誘いがあり、決心して入部しました。元々プロを目指していた彼は、この高校で必ず甲子園に出てプロ野球選手になることを目標に再スタートを切ったのです。しかし、高校野球のルールで転校生は1年間対外試合には出られないのです。その間、彼は試合に出られなくても、チームのためにできることを率先して行い、最初で最後のチャンスとなる1年後の夏の大会での活躍を心に誓って努力を続けたのです。3年の夏は彼の活躍もあり、熊本県大会で優勝し甲子園出場を果たしました。そしてその秋、運命のドラフト会議で阪神タイガースから指名され、夢が叶ったのです。一度は挫折を味わい、諦めかけていた夢でしたが、周囲の支えもあって再び夢を追いかけることができ、見事につかんだのです。おそらく、彼が経験した困難な状況を乗り越えたことが、一回りも二回りも人間的に大きく成長する力となったんだと思います。プロの世界は厳しいので簡単にはいかないと思いますが、彼の活躍を期待せずにはられません。

私の尊敬する恩師が、「困難の余徳」という言葉をよく使われます。

「困難なことに直面しても、それを乗り越えれば、乗り越えただけではなく、あり余る恩恵に出会える。大切なものをつかむことができる。」という気持ちでつくられた言葉です。皆さんも、これから先の長い人生には困難なこともたくさん待ち構えていると思いますが、それを乗り越えた先には何倍も素敵な出来事が待っていることを信じて生きてほしいと願っています。

それでは年末年始、健康に留意して、有意義な時間を過ごしてください。そして皆さんが「希望に満ちた新年」を迎えられるよう祈っています。

以上、2学期終業式の式辞とします。

校長 藤田 忠 功



仁保中トピックス



生徒会から花鉢のプレゼント(12/4・5)

生徒会整備委員会の企画で、地域の事業所等に日頃の感謝の気持ちを込めて「花鉢」をプレゼントしました。いつもお世話になりありがとうございます。



胸キュン畑でサニーレタスの収穫(11/20)

1・2年生が胸キュン畑で育ったサニーレタスを収穫しました。よく育っていました。次の収穫も楽しみです。



野鳥観察会(12/14)

仁保小6年生と仁保中1年生が合同で野鳥観察会を行いました。きらら浜自然観察公園から講師をお招きし、ご指導いただきました。



伝統文化を学ぶ会(12/19・20)

1・2年生を対象に「伝統文化を学ぶ会」を開催しました。仁保地区老人クラブから13名の方を講師にお迎えし、しめ縄づくりと門松づくりを体験させていただきました。翌日(20日)には、2年生が茶道体験を行いました。講師として茶道裏千家淡交会から3名の方をお迎えしてご指導いただきました。日本に伝わる良き伝統文化をしっかりと継承していきたいものです。



キャラ弁づくり(12/15)

3年生が、思春期子育て体験講座で地域の方に教わりながら、アンパンマンをモチーフにした、かわいいキャラ弁づくりに挑戦しました。かわいいですね。



行事紹介

1月

- 4日(木) 仕事始め 校納金振替日
3年習熟度診断テスト
- 8日(月) 傘成人の日
- 9日(火) 始業式、生徒会役員任命式
身体測定、専門委員会
- 12日(金) 学校運営協議会
- 13日(土) どんと焼き
- 22日(月) 火災避難訓練
- 30日(火) プロに学ぶ会(1, 2年)
- 31日(水) 1, 2年習熟度診断テスト
専門委員会